

大成ロテック

# 施工機械周囲を可視化

複数のカメラ  
1モニターで把握

大成ロテックは、NEXCO  
O中日本東京支社発注の「新  
東名高速道路伊勢原北IC」  
秦野IC間舗装工事」で稼働  
中のスリップフォームペーバ  
に、東京通信機の360度可  
視化モニタシステム「ガルデ  
360」を導入し、効果を確

認した。施工機械に設置した  
複数のカメラから得た画像を  
リアルタイムで加工し、施工  
機械周囲の状況を操作盤上の  
1つのモニターから一目で把  
握できるシステムで、今後中  
・大型の施工機械へ順次導入  
を進めていく方針だ。

して目視確認をしている。  
同様のシステムは自動車や  
汎用建設機械では普及が進ん  
でいるがスリップフォームペ  
ーバへの適用事例はなく、ト  
ンネル内など作業範囲が狭小  
で制約を受ける場所での施工  
の際に、施工機械と作業員の  
接触防止に役立つことが期待  
される。



機械周囲を4つのカメラでカバー

今回同システム  
を導入したスリッ  
プフォームペーバ  
は、コンクリート  
舗装に用いる比較  
的大型の施工機械  
だ。従来、死角の  
多い機械上で操作  
に当たるオペレー  
ターは、周囲の安  
全や作業員の状況  
を確認するため  
に、その都度移動